

2020 年度 事業報告書

社会福祉法人共和福祉会

2021 年 6 月 9 日

2020年度 社会福祉法人 共和福社会事業報告

2020年度は、2018年4月より閉鎖中の1ユニット(入所定員10名)早期再開を最重要課題とし、介護人材と入所定員の確保に取り組みました。しかし介護人材の定着率が悪く、ユニットオープンに必要な人材を確保することができませんでした。さらに新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るい、2021年2月に当苑においてもショートステイ利用者のコロナ感染者が発生し、その影響により一時的なユニット閉鎖、ショート利用中止のほかデイサービス利用減にも繋がり、経営的に大きな打撃を受けました。

資金収支において収入面では、デイサービスの収入が前年比7百万円減、介護支出面では、派遣職員に依存した結果、人件費が前年比18百万円増となり、最終収益では▲19百万円(前年比21百万円の減益)の赤字となりました。

1. 利用状況について

(1)入所は定員(81名)に対して65.6名/日(80.9%)、前年は65.1名/日(80.4%)

(2)ショートステイは定員9名/日に対し、入所の空床利用により12.9名/日(143.0%)と入所のカバーを行いました。前年は14.0名/日(155.6%)

(3)デイサービスは定員32名に対して24.5名/日(76.6%)前年は27.9名/日(87.1%)

(4)入院者数については3.2名/日、前年は2.9名/日

※入所は介護職員不足により、ワンユニット(定員10名)閉鎖中のため実質運用定員数は71名、ショートステイの定員9名に加え入所・ショートの実質定員は80名となっています。よって(1)の実態は定員71名に対して65.6名(92.4%)となります。

2. 入退所者の状況について

新規入所は27名(前年22名)、退所は27名(前年28名)でした。現在も継続的に要介護度の高い入所者受入(日常生活継続支援加算Ⅱ)を行っており、平均要介護度も4.11(前年4.08)と徐々に上がっています。退所者については、施設で亡くなられた方が14名(前年7名)で内訳は、看取り:10名、急変:4名(前年看取り:7名、急変:0名)でした。

施設で亡くなられた方については、常日頃から職員が本人の状態をみながら家族とコミュニケーションを図り、情報を共有することで、急変時もスムーズに対応ができ、家族からも感謝の言葉をいただいています。

部署別看取り内訳 2C:1名、3B:2名、3C:2名、4A:1名、4B:2名、4C:2名の計10名

部署別急変内訳 3C:1名、4A:1名、4B:1名、4C:1名の計4名

入院者数は、1日平均3.2名(前年3.0名)と微増しています。消化器系疾患と肺炎による入院が多く、体調不良者の早期発見と迅速な対応することが今後の課題です。

3. 人事面について

介護科は入職者 32 名(うち常勤 3 名 非常勤 7 名 派遣 22 名)(前年 36 名)、退職者 33 名(常勤 9 名非常勤 5 名 派遣 19 名)(前年 33 名)があり、看護科は入職者 1 名(派遣 1 名)(前年は 4 名)、退職者 1 名(派遣 1 名)(前年 3 名)その他入職者 2 名(常勤 管理栄養士、介護支援専門員) 退職者 1 名(常勤 管理栄養士)がありました。

求人媒体は、ハローワーク、一般求人広告、派遣会社、紹介会社を利用し、2020 年度介護職員の入退職者のうち派遣介護職員の割合は、入職者:69%、退職者:58%となっており、定着率の低さが、介護職員の増員補充に繋がらず、3A オープンへの障害となっていました。

次年度に向けては、新たに外国人採用に力を入れ、2021 年度には 4 名の常勤介護職員雇用予定となっています。

4. 感染予防対策について

2020 年度は新型コロナウイルスが全国的に感染拡大する中、当苑は職員、利用者、外部業者例外なく検温・手洗いと消毒、マスク着用等の予防対策を実施しています。2 月に当苑のショートステイ利用者 1 名の新型コロナウイルス感染が判明しましたが、保健所の指導によりそれ以上感染拡大には至りませんでした。その後は、介護時の手袋とフェイスシールドの着用、食事用テーブルにパーテーションを設置、面会制限など、状況に応じた感染予防策を徹底し、さらに感染認定看護師によるコロナ感染防止の研修会を当苑で実施するなど、職員全員の感染に対する意識向上に努めました。

5. 介護事故について

2020 年度はヒヤリハット 541 件(前年比▲132 件)、事故 199 件(前年比▲69 件)でした。全体の事故件数については前年比減少しました。ヒヤリハット及び事故の内容については外傷・皮下出血が 417 件(前年 541 件)と最も多いが、常日頃から入所者の状態観察を行ったことが、前年より減少した要因と思われます。

しかし薬関係(誤薬、発見、内服忘れ)の事故が 44 件(前年比 31 件)ありました。そのうち 15 件は薬の発見でした。職員が自己服用できる入所者に薬を渡した後、服用できたかの確認不足が原因と思われます。また転倒骨折事故が 5 件あり、職員の転倒防止対策(見守り方法、センサーマット使用)についても検討する必要があります。

今後も事故防止については事故委員会の中で防止策を議論し、具体的な対策をまとめ実施していきたいと考えています。

6. 行事・食事について

年間行事である 9 月の万寿苑祭りは全国的に新型コロナが流行している為、中止しました。また外部ボランティアによる行事(音楽ボランティア、保育園児、だんじり、盆踊り)は全て中止となりました。そのような中、感染対策を講じた上で、7 月 納涼そうめん 8 月 スイカ割り、10 月 フロア別お祭り、12 月 クリスマス会、1 月 新年会、2 月 節分と年間 6 回の行

事で利用者延 425 名が参加し、楽しんでもらうことができました。

また各ユニット単位での食事レクリエーションを年間延 58 回(前年 33 回)実施し、たこ焼き、ホットケーキ、ベビーカステラ、誕生日ケーキ等普段食べられないものを中心に職員と一緒に調理し喜んで頂きました。

7. 職員教育について

(1) 外部参加型研修 0 回(前年 9 回)

(2) 救急訓練 0 回(前年 0 回)

(3) 苑内研修 16 回(前年 16 回)

(4) 外部講師研修 1 回(前年 0 回)

(5) 第 7 回万寿苑学術発表会中止(前年は 3 演題実施)

全国的な新型コロナ感染流行のため密度の高くなる学術発表会を中止しました。

職員の入退職が多いため、人員不足になり、研修参加できないことが多くなりました。しかし、少人数で研修を開催するよう工夫し、下半期には 14 回開催することができました。

2021 年度は、リモート研修ができる体制を作り、外部研修への参加を積極的に行います。

8. ワンユニット再開について

2018 年 4 月よりユニット閉鎖しており、再開するために必要な介護職員数の充足に力を入れてきましたが、次年度へ持越しすることになりました。主な原因は、応募の多い派遣職員を重点的に採用しましたが、入職後の離職率が 73.9%と高く、人員を充足することはできませんでした。派遣職員の退職理由としては、業務習得困難 30%、無断欠勤等 30% 体調不良や家庭都合 25% 職場環境になじめない 15%となっており、派遣会社への依存は安定的な人員確保には繋がりませんでした。

次年度は直接雇用の介護職員採用に重点をおき、入職後は、定期的な面談により本人の気持ちや悩みを汲み取り、職員にとって安心ある職場環境にします。それにより職員の定着と早期の 3A オープンに繋がりたいと思います。